



第2回講座「在宅医療の現場から」

＜人間の尊厳を守る在宅医療＞

第2回講座は予定どおり7月12日(土)午後1時半から、日本基督教団内丸教会を会場に開かれた。



「教授」は内科医師の坂正毅(まさたか)さん。元盛岡医療生活協同組合理事長、かわくぼ往診センター長、75歳。

講座内容は「在宅医療の現場から」の報告であった。参加者の「学生」は28名。年配者が多かった。

被介護者を抱えている方々から、現実の様々な課題が提起され、緊張感と熱意のある雰囲気終始した。

坂さんは医師としての豊かな体験と実践から在宅医療の現状の一端を明らかにした。

その主な内容は、①以前の往診と現在の介護度別医療との相違、②在宅医療が抱えている問題点、③死生観の問題、など具体的な事例を示しながら現状の報告と問題の提起であった。

坂さんが在宅医療の特徴について始めに

強調されたのは、医療の主な対象は高齢者であり、①患者や介護者の「人間としての尊厳」を守ること、②患者の「その人らしい生き方」を支えること、であった。

日本の在宅医療分野の遅れは指摘されて久しい。高齢者の介護にしても、「老老介護」の問題は深刻であり、介護保険も行き詰まり、老人の孤独死は悲しい状態にある。

以前の往診は貧しい患者家庭への生活支援が全くなくて、人間の尊厳の配慮は不可能であった、という在宅医療の実例をあげて、「私自身も患者の病気の状態しか診て居らず、人間としての患者に目を向ける余裕がなかった」と坂さんは言う。

また、都市部と過疎地との「地域格差」が大きく、「支援事業所の偏在」につながっていること、および「介護者」の問題として、①高齢化・少子化、待遇の改善が進まないこともあって、介護者が減少していること、②老老介護の肉体的精神的負担が大きくて、家庭での療養が難しく、施設入所者が増加していること、等を指摘された。

医療側の問題としては、開業医には日常の診療があり、24時間の対応は困難であるという。

患者中心の医療は在宅医療から生まれるという。介護保険制度が施行された2000年に75歳以上の高齢者は約900万人、'25年には2000万人を突破する。地域社会と家族関係が大きく変容する。

坂さんは高齢者の「人間の尊厳保持」のため「在宅医療」の充実を訴えられた。(以上)

<お知らせ>

※「講座」を変更します。

今回の「講座」は8月9日(土)「小さな野菜畑・こびる食堂」代表：小島進さんの講座：「現代の『食』を考える」を予定しておりましたが、体調が優れないとのことで、変更いたします。

なお、会場と時間は変更しません。

会場：日本基督教団 下の橋教会

時間：13：30～(2時間程度)

講座：「CAP岩手」の活動

～いじめ問題を中心に～

教授：高橋 寿美子さん(CAP岩手代表)

高橋さんの「講座」を薦めて下さったのは小島進さんです。突然のお願いに高橋さんが快くお引き受け下さいました。感謝です。

CAP岩手は「いわて保健福祉基金」「日本ユニセフ協会」「子ども☆はぐくみファウンド」などの助成を受けながら活動を続けて16年目になる非営利の任意団体です。

WEBサイトから紹介いたします。

<http://cap-iwate.org/>

<設立目的>

子どもへのあらゆる暴力を許さない安全な社会をつくることを目指し、CAPプログラムの普及に努め、CAP活動を通じて家庭や学校、地域の連携を強め、子どもの人権が尊重される社会の形成に寄与すること。

<CAPとは>

Child (子ども)

Assault (暴力)

Prevention (防止)

の頭文字で、「子どもへの暴力防止」という意味です。

子どもたちの人権意識を高めて、虐待、いじめ、誘拐、性被害などのさまざまな暴力から大切な自分を守ろうとする子どもの力を引き出す人権教育プログラムです。子どもやおとなに、わかりやすく伝えます。

いじめ、虐待、誘拐、性暴力など、子どもを取り巻く暴力に心を痛めているあなたへ

CAPの活動に参加しませんか

公開CAPおとなワークショップ

～中学生暴力防止プログラムのご紹介～

*とき 平成26年 8月31日 (日)

14:00～16:00 (16:00～1700 交流会)

*ところ アイーナ 6F 団体活動室3

(いわて県民情報交流センター 盛岡駅西通)

*参加費 500円 定員20名

(未就学児の同伴できます)

*内容

- ・人権意識について
- ・暴力について
- ・被害者・加害者心理について
- ・中学生対象プログラムの紹介と模擬
- ・おとなができる子ども支援について
- ・防止教育の必要性について

第4回「講座」 9月13日(土)

小山 富男さんの講座：「民間外交を通じた日中問題の要(かなめ)」

場所：岩手真宗会館

「人間の復興大学」本部：

岩手真宗会館内

「会報」発行：編集委員会

電話：019-635-9161

岩手県盛岡市東仙北二丁目2-45

URL：<http://re-human.net>

※ 皆様からの感想やご意見をお待ちしています。